



各ラボの相談風景 を紹介します!

千里山キャンパス総合図書館ラボ @ラーニング・commons ライティング・エリア

総合図書館内にある本ラボは広々として開放感があり、どの学舎からもアクセスしやすく利便性に優れています。



千里山キャンパス第1学舎ラボ @1号館5階

ラボ専用の教室には明るい自然光が差し込み、リラックスした雰囲気の中でセッションに集中できる環境が整っています。



千里山キャンパス 第4学舎ラボ

@1号館1階 協同学習室

協同学習室にあり、落ち着いた静かな隠れ場所のような居心地の良い空間です。



高槻キャンパスラボ

@図書館 グループ閲覧室

図書館内外の風景が見える落ち着いた空間で、ライティングに関するサポートを提供しています。



高槻ミュージズキャンパスラボ

@西館2階 ミューズカフェ

JR京都線・東海道本線の眺めとともに相談ができます。駅から徒歩10分程度とアクセシビリティは抜群です。



堺キャンパスラボ

@A棟3階 ラーニング・commons

併設しているラーニングエリアではレポート作成に関する図書を読覧できます。ランチタイム(12:10-13:00)では飲食も可能です。



オンライン

時間と場所に制約されることなくサポートを受けられるため、忙しい学生や交換留学などで海外にいる学生にとって特に便利です。



関西大学 ライティング ラボ Letter

Kansai University

関西大学にラボは
いくつある？

関西大学には現在、6か所にライティングラボがあります。静かに集中できる場所、相談しやすい温かな雰囲気のある場所など、それぞれに個性があります。さらにオンライン相談も行っており、時間や場所に合わせて利用することができます。ぜひ自分に合ったラボを見つけてください。

レポート作成で困ったことはありませんか？

ひとりで悩まなくて大丈夫！

関大生なら誰でも、大学院生等のチューターと1対1で、文章作成上のアドバイスを受けることができます！



チューター

大学院生等、学生と年代の近いメンバー

早めの利用がおすすめです！

締切直前ではなく、時間に余裕があるほど、より多くの改善につなげることができます。春学期は4・5月、秋学期は10・11月が比較的空いているので、ぜひこの時期にご活用ください！



学生

大学1年生
レポートの相談に来室

利用期間 授業期間中の月曜日～金曜日

場所 千里山キャンパス／堺キャンパス／高槻キャンパス／高槻ミュージックキャンパス それぞれに設置されています。オンライン相談も可能です。

時間帯 11:30～17:00

1回の相談時間 40分



詳しくはこちらから▶

レポートについて

クイズに挑戦

してみよう！

Q1

レポートについて正しいものを1つ選んでください。

- ① レポートには書き方や構成があり、何度か見直すことが大事である。
- ② レポートは自分の主張を伝えるものなので、思いついたことをそのまま書く。
- ③ 自分の文章を見せることは恥ずかしいため、1人でずっと考える。

Q3

レポートの結論で書くべきことを2つ選んでください。

- ① レポートで取り上げるテーマや問題の新規性・独自性。
- ② レポートのテーマに関わる今後の課題や展望。
- ③ レポートで扱う参考文献のリスト。
- ④ レポート全体のまとめ。
- ⑤ 研究対象に対する自分の分析・考察。
- ⑥ 今回の研究方法や調査方法。

Q2

レポートの表記や表現として不適切なものを2つ選んでください。

- ① 近年、健康食品への関心は非常に高くなっている。
- ② 昨今の教育問題について、たぶん親の年収との相関が問題です。
- ③ クラスを少人数制にするべきだと主張する。
- ④ したがって、計算課題による認知負荷は十分であったと示唆される。
- ⑤ 源氏物語など和歌の表現がすぐれた作品は少ない。
- ⑥ まず、インボイス制度の導入にはAという利点がある。

Q&A



Q4

適切な引用のルールを1つ選んでください。

- ① 引用は複数のスタイルを混ぜて使用する。
- ② 引用は1つのスタイルに統一する。
- ③ 引用する場合は必ずページ番号を記載する。
- ④ 引用する場合は著者名のみを記載する。

Q5

間接引用の例文として適切なものを1つ選んでください。

- ① 竹西は万葉の自然は現代の自然ではないと述べている。
- ② 竹西は「万葉の自然は現代の自然ではない」と述べている。
- ③ 竹西(1974)は万葉の自然は現代の自然ではないと述べている。
- ④ 竹西(1974)は万葉の自然は現代の自然ではないと述べている(「自然と人間」)。

答えと解説は裏表紙へ！



学術的誠実性 (アカデミックインテグリティ)とは、

学問に対して誠実であること、つまり自分の学びに責任を持って取り組む姿勢のことです。

生成AI

は便利なツールです。24時間好きな時間に利用でき、企業でも活用が進み、日常生活のアプリにも組み込まれる等、私たちの生活に欠かせないものになりつつあります。しかし、使い方を誤ると大きなトラブルに繋がります。



岩崎 千晶

教育開発支援センター長・教育推進部教授

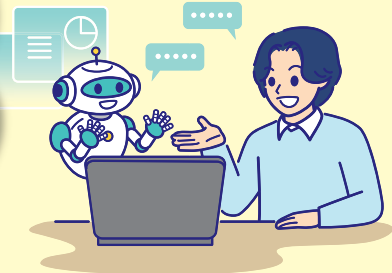
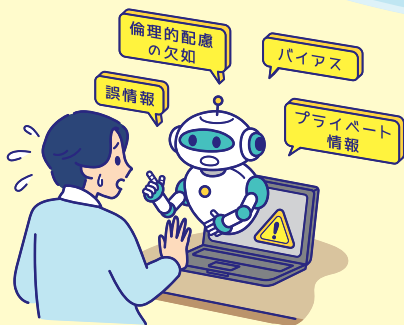
実際に、架空の文献を引用してしまった、AIの誤情報で間違ったレポートを書いた、といった事例が見受けられます。

生成AIを効果的に活用するには、生成AIに丸投げするのではなく、対話を重ねながら一緒に作り上げていくこと、つまり学術的誠実性を踏まえた「共創」が重要です。そこで、ここでは生成AIを活用するにあたって配慮すべき点をいくつか取り上げます。

まずは…

授業の方針を確認しよう

レポートや学習課題に生成AIを利用する前に、担当教員の方針を確認しましょう。授業で生成AIの使用が禁止されていることや、使用範囲が限定されている場合があります。



1 生成AI利用で配慮すべき点をおさえてよう

生成AIには以下のような注意点がありますので、利用する際には気を付けてください。

① 正確性の問題

提示された数値が実際のデータと異なることがあります。必ず信頼できる情報源で確認し、実際に出典元の文献やWEBサイトに情報が書かれているかを確認しましょう。

② バイアスの存在

特定の文化圏や立場に偏った解釈が提示されることがあります。特定の価値観や文化的バイアスが含まれる可能性を常に意識してください。

③ 倫理的配慮の欠如

技術的には可能でも倫理的に問題のある提案が含まれることがあります。社会的影響や倫理的な観点にも配慮が必要です。

④ プライバシーの侵害

個人情報や非公開情報を入力しないようにしましょう。

3 ライティングラボも活用しよう

生成AIとの対話も有効ですが、**人との対話も大切**です。ライティングラボでは、添削ではなく**対話を通じて、皆さんの文章力を育てています**。チューターと対話を重ねることで、次のレポートを書く際に自分で課題に気づけるようになり、**自律的な書き手へと成長**できます。



2 学習を深める生成AIとの5つの対話スタイルで共創してみよう

生成AIは適切に使えば、学習を深めるパートナーになる可能性があります。5つの対話スタイルを用いるなどして、生成AIの出力結果に対して批判的に読み解くことができるように心がけてみましょう。

① 批判的検証：鵜呑みにしない

生成AIの回答をそのまま受け入れず、「なぜそう考えたの?」「根拠は何?」「他の見方はない?」と問いかけ続けてみましょう。

② 対話的修正：意図を伝え直す

期待と異なる回答が返ってきたら、あきらめずに「そうじゃなくて、こういう意図なんだけど」と説明し直してみましょう。この対話の過程自体が、自分の考えを明確にする訓練になります。

③ 視点の多様化：別の角度から見る

「この意見に反論してみよう」「読者の立場で批判してみよう」「専門家ならどう考える?」など、生成AIに異なる視点や役割を与えて対話することで、多角的な思考が促されます。

④ 協働的構築：段階的に作り上げる

「全部書き直して」と丸投げするのではなく、「この表現だけ変えたい」「ここは残して、ここを修正したい」と部分的に対話しながら、段階的に文章を作り上げていきましょう。

⑤ メタ認知的対話：自分を客観視する

「この文章を読んでどう思う?」「どこが分かりにくい?」「私の理解は正しい?」等、生成AIを読者や評価者に見立てて、自分の文章や思考を見つめ直してみましょう。



ライティング
ラボ

新版ガイドブック発行！



『新版 プレゼンテーションの作り方ガイド』

2026年度に『新版 プレゼンテーションの作り方ガイド』を発行します。発表準備の基本から、よりわかりやすい発表を目指すための工夫まで、段階的に学べる1冊です。スライド作成や発表後の振り返りについても解説しており、チェックシートで学習の到達度を確認できます。ぜひ手に取って活用してください。



『新版 レポートの書き方ガイド』

レポートの体裁や構成の組み立て方、文献検索の方法等のライティングスキルを解説しています。

各キャンパスのライティングラボと教育開発支援センター（尚文館3階）で無料配布しています。また、関大LMSから無料でPDFデータをダウンロードすることもできます。ぜひ手に取ってみてください！



クイズの答えと 解説の発表です！



関西大学

ライティングラボ Letter
VOL.2

2026年3月1日 発行

編集・発行：関西大学 ライティングラボ

〒564-8680 大阪府吹田市山手町 3-3-35

TEL：06-6368-0230

<https://www.kansai-u.ac.jp/ctl/labo/>

wlabo@ml.kandai.jp



▶ Q1の答え ①

レポートは読む人が理解し納得できるように、客観的で論理的な文章が求められます。例えば序論・本論・結論という構成で書く方法やいくつかの段落で構成するパラグラフ・ライティング等があります。事実と意見を区別して提示することも重要です。また自分だけでは気づけなかったミスや思い込みもあるので、誰かに見てもらうことは大切です。

▶ Q2の答え ② ⑤

- ② 「たぶん」は話し言葉なので、書き言葉である「おそらく」を使いましょう。文末も「です・ます」体になっているため、「だ・である」体を使いましょう。
- ⑤ 送り仮名が不適切です。作品の数が多くないのであれば「少ない」に、多いのであれば「少なくない」に直しましょう。送り仮名の間違いで、全く逆の意味に受け止められる可能性があります。

▶ Q3の答え ②、④

- ① 取り上げるテーマや問題の新規性・独自性は、序論で示しましょう。
- ③ 参考文献のリストは本文中ではなく、本文のあとに作成しましょう。
- ⑤ 研究対象に対する自分の分析・考察は、本論で詳しく書きましょう。
- ⑥ 研究方法や調査方法は序論で書きましょう。

▶ Q4の答え ②

引用は1つのスタイルに統一することが重要です。これにより、引用が一貫性を持ち、読者が参照しやすくなります。ページ番号の記載が必要かどうかは引用のスタイルや引用方法(直接引用・間接引用)によって変わります。引用する際は、著者名だけではなく発行年も書きましょう。

▶ Q5の答え ③

間接引用は、参考文献に書かれている文章を、自分のことばで要約し書き直した上で示すという方法です。引用部分はかぎ括弧で囲みません(直接引用はかぎ括弧が必要)。また、引用元の発行年は明記する必要がありますが、文末に参考文献のタイトルを書く必要はありません。

※Q4.Q5補足：引用に関する解説は『新版レポートの書き方ガイド』に準拠しています。